

主体的に学び続ける子どもへの育成

【授業力向上部】子どもまなか授業を目指します

視点1: 解決活動の工夫

学習課題の解決に向けて、見通し、アウトプットの場の確保、多様な学び合いの場の設定、対話的な学びを支える力の向上などに取り組む。

「めあてとまとめの整合性」
めあてと同時にまとめの書き出しを書くことでゴールを明確にする。

「見通しの持たせ方」
既習事項やキーワードを活用しながら課題解決の見通しを持たせる。

「伝える場の設定」
アウトプットの場を確保するために、ペアトーク、グループトーク、全体学びなどの多様な場を設定する。

「伝える力の向上」
学年ごとの育てたい話し方を検討・共有し、工夫して伝える力を養う。

「深める発問」
本時の目標達成や理解・定着の充実に向けて、一度立ち止まらせて、より深い学びの理解・定着を図るための問いかけなどを行う。

「振り返りの視点」
3つの視点をもとに、子ども自身が自分の学びを整理する時間を設定する。

視点2: 教師の関わり

子どもの学びの様子を見取りながら、誤答の提示、揺さぶり、問い直しなど、学習内容の定着や学びを深める声掛けを適宜行っていく。

【基礎学力向上部】確かな学力の定着を目指します

視点1: 定期的な基礎学力チェック

丸付けボランティア

**朝学充(15分)
学力充実タイム(45分)**

視点2: 言語トレーニング

自分の立場を明確にして考えとその理由を伝えたり、友達の考えに対して質問したり、自分との相違点を伝えたりする。

問答ゲーム

【テーマ】動物園と水族館、どちらが好きか

ぼくは動物園の方が好きです。なぜなら、いつもは見ることのできない動物をたくさん見ることができるからです。

2～6年生の自学のお手本を掲示し、自分が真似したい部分にシールを貼り、1カ月間自学に取り組む。

まねっこスタディ

視点3: 読書・家庭学習の推進

家庭学習シート例

	10/6 (月)	10/7 (火)	10/8 (水)	10/9 (木)	10/10 (金)
漢字4行	15分	15分	15分	15分	15分
プリント	15分	15分	10分	25分	15分
音読	9分	15分	5分	4分	4分
オンラインドリル	50分	20分	40分	5分	30分
合計(分)	74分	65分	80分	79分	79分

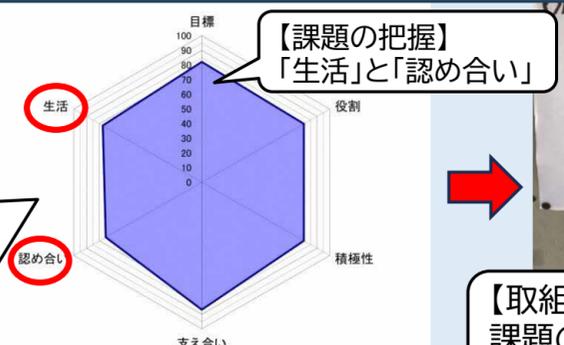
必読書ビンゴ

読書の質の向上のため、各学年の必読書をビンゴカードに取り入れた。

計画的な家庭学習

視点1: 学級力向上アンケートの取組

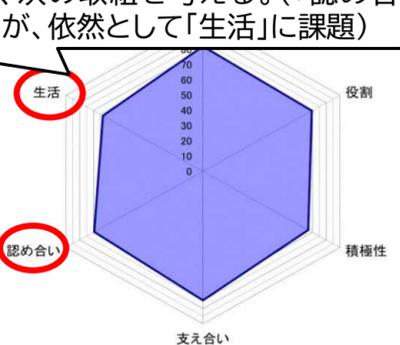
6月・11月・2月の計3回のアンケートを実施し、学級の課題を可視化。



【課題の把握】
「生活」と「認め合い」

【取組】
課題の改善のために、学級で意識することを考え、実際に取り組んでいく。

【振り返り】
結果をもとに、次の取組を考える。「認め合い」は向上したが、依然として「生活」に課題



【学級力向上部】支持的風土のある学級を目指します

視点2: 心理的安全性の確保

毎朝の健康観察時にタブレット端末で今日の気分を種類ごとに回答する。

心のカレンダー

気持ちが落ち着かない場合や担任に話をしたい場合は雷マークや雨マークを付けるため、教師が意図的に声掛けを行ったり、様子を見守ったりする。

「熊本の学び」が目指すもの

理念

熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。

3つの提言

- 提言1 ふるさと熊本に根ざし、豊かな郷土の創造と自己の向上を目指し、能動的に学び続ける熊本の子供
- 提言2 問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める熊本の子供
- 提言3 自分の学びの姿を知り、日々たゆまず、自ら学ぶ熊本の子供

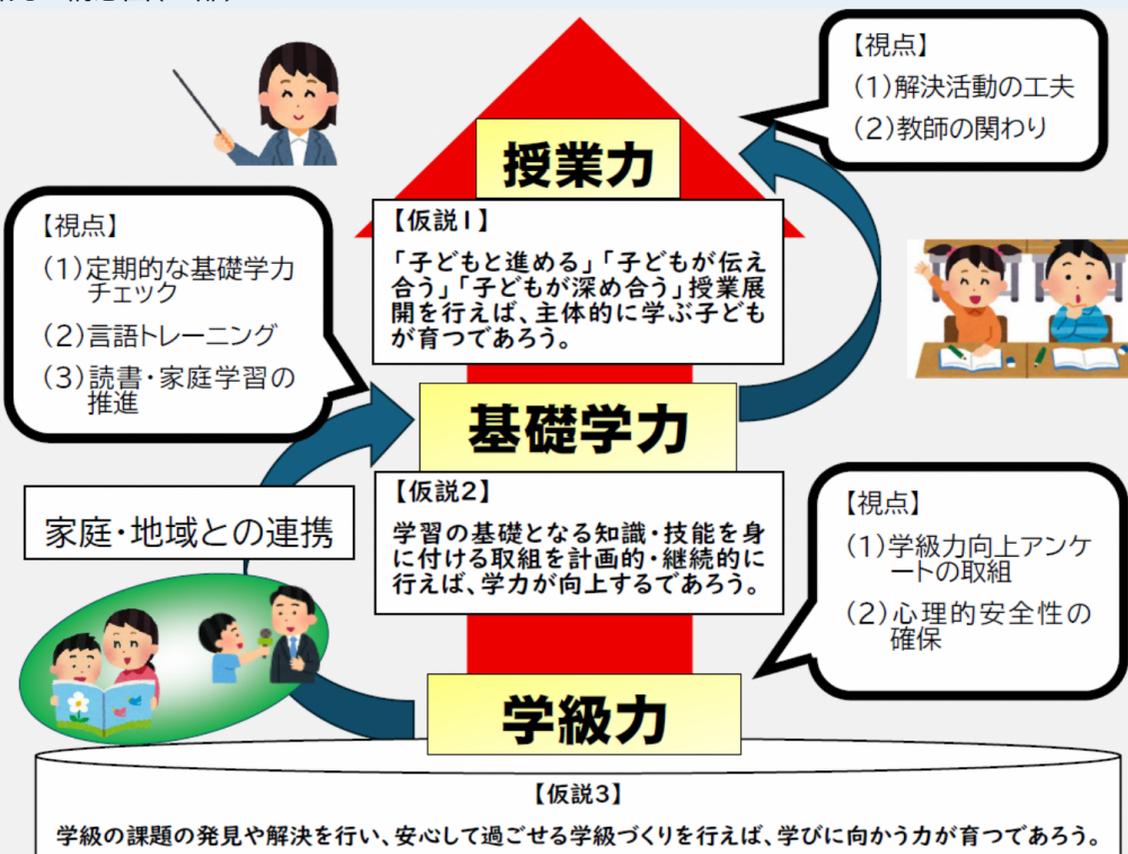
研究主題

主体的に学び続ける子どもの育成

～授業力・基礎学力・学級力向上の3つのアプローチを通して～

★「主体的に学び続ける」とは、授業内外に関わらず、自ら問いを持ち、その問いに向かって粘り強く解決しようと学び続けること。

研究の構想図(一部)



子どもの声

あらおベーシックはリーダーと授業を進めるので、周りの進み具合を見ながら話し合う時間を調整でき、しっかり問題と向き合うことができます。また、班学習で疑問が解決しなかったときは全体学びでみんなに問いかけて解決していくのも楽しいです。(5年生)

友達の考えを聞くことで自分の考えが変わるときがとても面白いです。分からない問題があっても班学びで教え合うことができるので、楽しく学習を進められます。自分の考えを相手が分かってくれたときはとても嬉しいです。(6年生)

教師の声

最初にあらおベーシックを見たときには自分のできるの不安がありました。しかし、解決活動を工夫することで子どもたちが活発に発言したり、その発言に対して意見を言ったりと主体的な姿をたくさん見ることができ、とても楽しいです！(3年目)

4月に赴任し、初めは「子どもたちが授業を進める？」「先生は何をするの？」など前任校とのギャップが大きく不安もありました。しかし、子どもたちがワールドカフェやグループ学習などの場面で主体的に学習に取り組む姿が多く見られるので、自分も頑張ろうとすることができます。(4年目)

令和7年度全国学力・学習状況調査等の結果から

【児童質問調査】 ※熊本県教育委員会の示す重点指標に係るもの (肯定的数値)

【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

熊本県	76.5%	+5.5%
全国	80.3%	+1.7%
本校	82.0%	

【重点指標2】 自分の考えを発表する機会でも、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

熊本県	61.5%	+2.4%
全国	68.6%	-4.7%
本校	63.9%	

【重点指標3】 授業の内容はよく分かりますか。(国語)

熊本県	83.3%	+10.2%
全国	82.8%	+10.7%
本校	93.5%	

【重点指標3】 授業の内容はよく分かりますか。(算数)

熊本県	77.2%	+8.1%
全国	78.3%	+7%
本校	85.3%	

【児童用校内研アンケートより】

家で決められた時間、勉強(宿題)ができていますか。
→**84%**(肯定的数値)

あなたは友達のおよさや頑張りを認めていますか。
→**93%**(肯定的数値)

【教師用校内研アンケートより】

既習事項やキーワードをもとにした見通しを持たせて、解決活動をさせることができますか。
→**83%**(肯定的数値)

子どものよさや頑張りを認め、評価できていますか。
→**100%**(肯定的数値)

研究の成果と課題

○成果

- あらおベーシックを基盤とした授業を進めることで、主体的に学習に取り組む意識が向上した。
- 学力充実タイムや家庭学習の充実を図ることで、学びを深めようとする子どもの姿が増えた。
- 教師が子どものよさや頑張りを認めることで支持的風土が広がり、子どもたち同士でもお互いのよさやがんばりを認めようとする意識が高まった。
- 授業力を向上させるために2つの視点に絞って考えたことで、校内研修でも自分事として協議を深めることができ、教師の授業改善につながった。

△課題

- 自分の考えをうまく伝えるために工夫して発表できるように、相手意識や目的意識を持たせた対話ができるよう指導する必要がある。
- 学習の基礎となる知識・技能を身に付けさせるために、指導と評価の一体化を図り、教師が確実に見取り、適切なフィードバックを行う必要がある。

令和6・7年度 熊本県教育委員会指定 「熊本の学び」研究指定校事業プロジェクト校



主体的に学び続ける子どもの育成

～授業力・基礎学力・学級力向上の3つのアプローチを通して～



荒尾市立荒尾第一小学校